

スマートエリアの取組状況について

令和4年10月28日
(敦賀市)



敦賀市版スマートエリアビジョン（素案）

“軒先のあるまち並み” “共助縁側社会・敦賀” 実現のためのスマートエリアビジョンの全体像（素案）

子どもも大人も夢中になれる
だから学べる・身につく



子どもから高齢者まで
みんなが安心して楽しく
暮らせる「共助」のまち



人と人との交流・つながりを
支えるエネルギー

行政の手続きを
もっと早く、
もっと簡単に



みんなで一緒に取り組む
ゼロカーボンシティへの挑戦



人と人との交流・つながりを
つくるためのDX



共助縁側社会・敦賀

買い物が困難な地域に
ドローンが生活必需品を
安全に配送



デジタルの力を借りてつくる
みんなの敦賀市



人と人との交流・つながりを
活かす産業

病気を未然に防ぐ
万が一のときもかんたん診療



漁場・生産・流通をデジタルで管理することで
効率的で安心な漁業



ドローンを活用したスマート物流の社会実装事業

- ・少子高齢化が進む過疎地域では、免許返納者などの買物困難対策や若い世代が住みやすいまちづくりといった地域課題を抱えている。
- ・そのような地域課題の解決を目指し、今年度、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、ドローンを活用したスマート物流の社会実装事業を行う。

事業イメージ

- ・利用者は電話や専用アプリから商品を注文。スマート物流の起点となる集配拠点「ドローンデポ」から、配送用ドローンが定期自動運航し、集落に設置された「ドローンスタンド」まで商品をお届け。
- ・買物困難対策だけでなく、市街地の商店や飲食店との連携によって地域活性化を図る。



配送サプライチェーンのイメージ

